

夢の向こうにだけ、 現実がある。

私たちはそう信じています。



現実には、夢でもおぼろしくする。

スミス氏の朝は、フィンセント・ファン・ゴッホの名画の前に飲む一杯のコーヒーから始まります。

燃えるようなひまわりの絵を見つめているスミス氏。すると、壮麗なオルゴールのメロディーが部屋を包み込みました。午前8時を知らせるヴィヴァルディの曲です。スミス氏はお気に入りのソファから立ち上がると、出勤の用意を調べ、愛車のエンジンを掛け、車載カメラに映った背後の様子を確かめます。オーライ、さあ、アクティブな一日の始まりです。

オフィスの椅子に腰掛け、最近買った最新の携帯電話を手にも、まずスミス氏はコールセンターに電話を掛けることにしました。

電話にでた素敵な声の女性は、スミス氏にこう話しかけました。「お早うございますスミスさん、今日は雲一つ無い良いお天気ですね。いつもの渋滞もなく、本当に最高の朝ですね。」

実はこの声の主、ミス・ラクシュミが今いるのはスミス氏のいるカリフォルニアの丁度裏側、インドのバンガロール。もちろん、スミス氏はその事を知るよしもないこと。

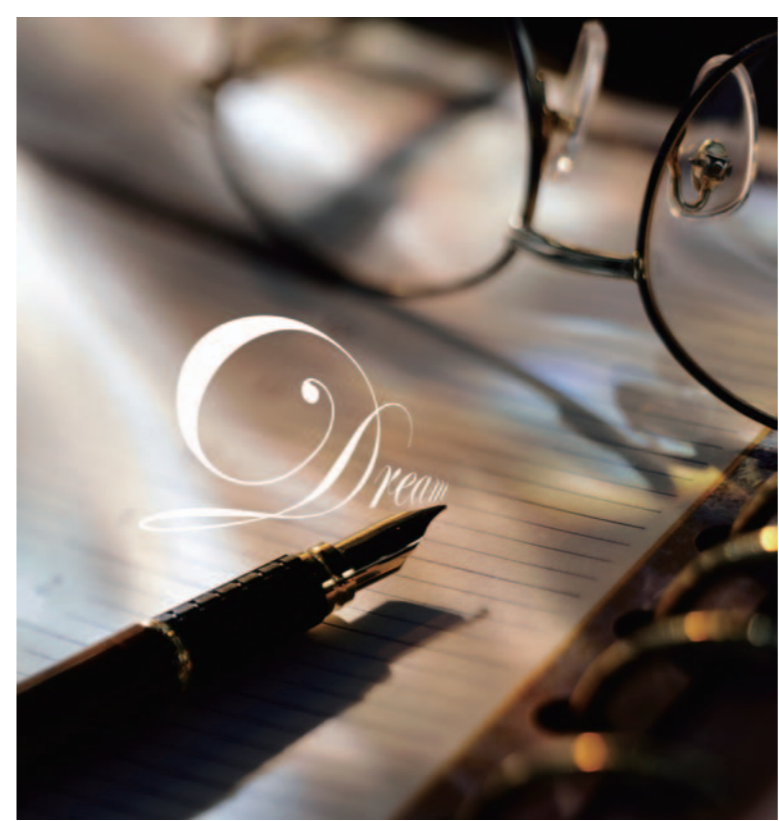
かし、彼女は手に取るようにスミス氏の今の状況を把握している。

種明かしをすれば、ラクシュミのデスククロックは夜の9時を示すバンガロールの時間と、スミス氏のいるカリフォルニア時間の8時30分の両方の時間を示している。そして彼女のPCモニターには、リアルタイムのカリフォルニアの映像と共に、天気、温度、交通情報がしっかりと映し出されている。

つまり、二人の間で交わされた

何気ない朝の挨拶には、実はいくつもの私たちの技術が使われているのです。

伝統的な文化を愛するスミス氏。その彼の日常を支えている最新のテクノロジー。そして、こんな夢のような話は、今やあなたの日常にあるごくごく当たり前の風景なのです。



目次

- 2 財務ハイライト
- 3 ごあいさつ
- 4 グローバルネットワーク
- 5 クロック事業への取り組み
国内事業 海外事業
- 7 電子事業について
- 8 金型・部品事業について
- 9 コーポレートガバナンスの状況
環境への取り組み
- 10 会社概要



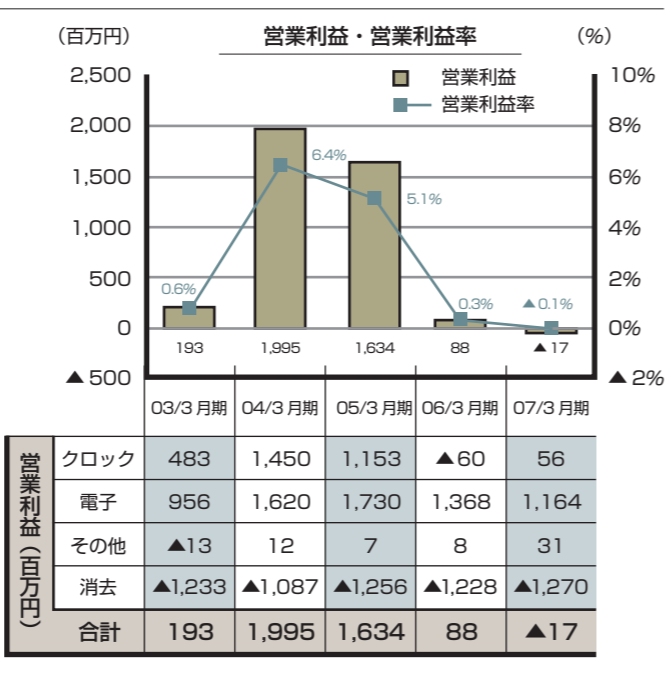
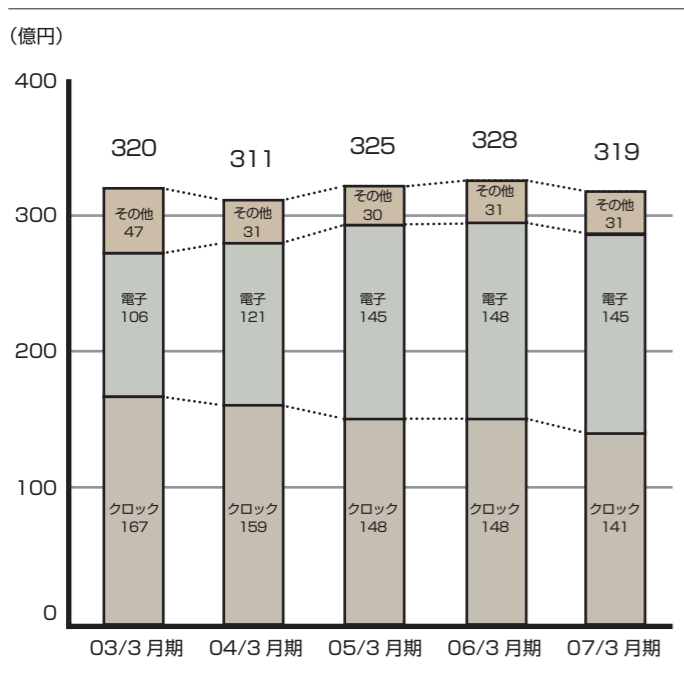
財務ハイライト

リズム時計工業株式会社及び関係会社 2007年3月期連結業績要約
3月31日に終了する事業年度

| | 2007 | 2006 | 2007/2006 |
|------------|--------|--------|-----------|
| | (百万円) | | (前年比) |
| 売上高 | 31,918 | 32,812 | 97.3% |
| 営業利益 | △17 | 88 | — |
| 経常利益 | 305 | 602 | 50.8% |
| 当期純利益 | 950 | 481 | 197.4% |
| 総資産 | 44,915 | 45,844 | 98.0% |
| 純資産 | 36,590 | 36,080 | 101.4% |
| 減価償却費 | 1,398 | 1,395 | 100.2% |
| 設備投資 | 1,362 | 1,687 | 80.7% |
| | (円) | | |
| 1株あたり純資産 | 269.02 | 265.07 | 101.5% |
| 1株あたり当期純利益 | 6.99 | 3.49 | 200.3% |
| 1株あたり配当金 | 2.00 | 2.00 | 100.0% |
| | (人) | | |
| 従業員数 | 851人 | 829人 | 102.7% |

将来見通しに関する注記)本資料における将来予想は、作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。

売上高推移(セグメント別)



| 営業利益(百万円) | 03/3 月期 | 04/3 月期 | 05/3 月期 | 06/3 月期 | 07/3 月期 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| クロック | 483 | 1,450 | 1,153 | ▲60 | 56 |
| 電子 | 956 | 1,620 | 1,730 | 1,368 | 1,164 |
| その他 | ▲13 | 12 | 7 | 8 | 31 |
| 消去 | ▲1,233 | ▲1,087 | ▲1,256 | ▲1,228 | ▲1,270 |
| 合計 | 193 | 1,995 | 1,634 | 88 | ▲17 |

(1)七宝絵画時計「七煌(しこう)」(2)車載カメラ(3)ワールドクロック(4)精密実装技術(5)ディスクオルゴールクロック「V-HG7」



日本のお客様のご満足を追求した 半世紀を礎に、 世界中のお客様の満足を産み始めます。



そのような現代社会にこそ、私たちにしかできない事業がある。今日、当社はあらためてそう実感しております。

手巻き時計の時代に産声をあげ、その時代、時代に当社はお客様の価値観に合わせた商品を開発し、世に送り出してまいりました。その商品ひとつひとつが皆様からの信頼をいただき、今日のリズム時計が存在いたします。

さて、現代社会は、日々その緻密さを増しています。「一分一秒の価値」も従来に比べようもない貴重なものになって参りました。その一方で、緻密さ故に生じる生活のストレスも大きな社会問題として報じられております。さらに、近年めざましい成長を遂げつつあるアジア新興国マーケットや、まさしくポーターレスに世界中を縦横無尽に走り回る情報と商品。こ

当社は従来からの基幹である国内外の時計事業はもとより、時代に対応した電子事業を通じ、より幅広い現代社会に貢献して行きたいと常に考えております。その一例が、「貴重になった時間」のために誤差の無い正確な時刻を表示する電波時計の開発であり、独自のパフォーマンスで生活に潤いを与えられるカラクリ時計のコンセプトそのものであります。そしてさらに今、電子機器の製造を通じ、楽しく、より快適な社会を創出するための電子事業を加え現代社会の大きなニーズに対し、事業の舵を切り始めております。

お客様のご満足を当社の経営の原点です。そして世界中のお客様にとって今後必要になる商品にいち早く発見し、ご提供することが当社の社会的役割でもあります。企業の社会的責任を自覚し、より良き企業市民として今後は国内の時計事業のみならず、広く世界に向け様々な機会を捉え積極的な企業活動をして参りたいと考えてお

ります。今年もまた新たな歴史を刻むリズム時計工業。その株主様そして当社をお支えてくださる皆様方のさらなるご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

代表取締役社長
大川 康寛



(1) パルミューズM463 (2) プリエR680 (3) エコライフM614 (4) スモールワールドメネットG (5) デイフェリア022 (6) パルデジットR048

2007年3月期を振り返って

事業を取り巻く環境

我が国経済は、消費の伸びには未だ弱さが見られるものの、景気全般としては回復が続いており、その効果は統計的には横ばいではあるものの個人消費への波及効果が期待され始めています(当連結会計年度平成19年3月期)。また、世界経済においても概ね拡大基調を維持しているとの認識されています。この様な中においても、クロック業界においてはなお引き続き厳しい環境であることは否定できません。当社においてもお客様のニーズや購買行動に合わせた商品の開発、コストの削減に努めましたが、結果として厳しい状況となったことをご報告させていただきます。特に情報機器分野においては売り上げが前年を下回り、その結果電子事業全体では減収減益となりました。

この様な状況を打開すべく、今後企業価値向上のため事業の選択と効率化を絶えず行くと共に、新しいビジネスモデルの創出のため事業規模の拡大をも視野に入れ、当社の強みである全国に展開された営業拠点と国内外の生産拠点を活かして経営に取り組み覚悟を新たに致しました。

当期の連結業績

当社グループの当期連結会計年度の連結売り上げ高、31.9億1,800万円(前連結会計年度32.8億1,200万円)に対し2.7%の減収。営業損益、1.7億円の損失(前連結会計年度8,800万円の利益)。経常損益では営業外損益に貸倒及び信託による収益2億5,300万円などを計上し、3億5,000万円の利益(前連結会計年度6億2,200万円の利益)に対し49.2%の減益。当期純損益では、特別損益に関連会社清算による利益1.2億9,200万円、たな卸資産及び固定資産処分損4億7,600万円などを計上し、9億5,000万円の利益(前連結会計年度4億8,100万円の利益)に対し97.4%の増益となりましたことをご報告申し上げます。これら数字の主な原因はクロック販売数量の減少、コストの上昇等があげられます。今後においては、さらなるグループ全体の合理化と効率化に努めると共に、緊張感と危機感を持ち、問題意識の見える化を徹底し推進する所存でございます。

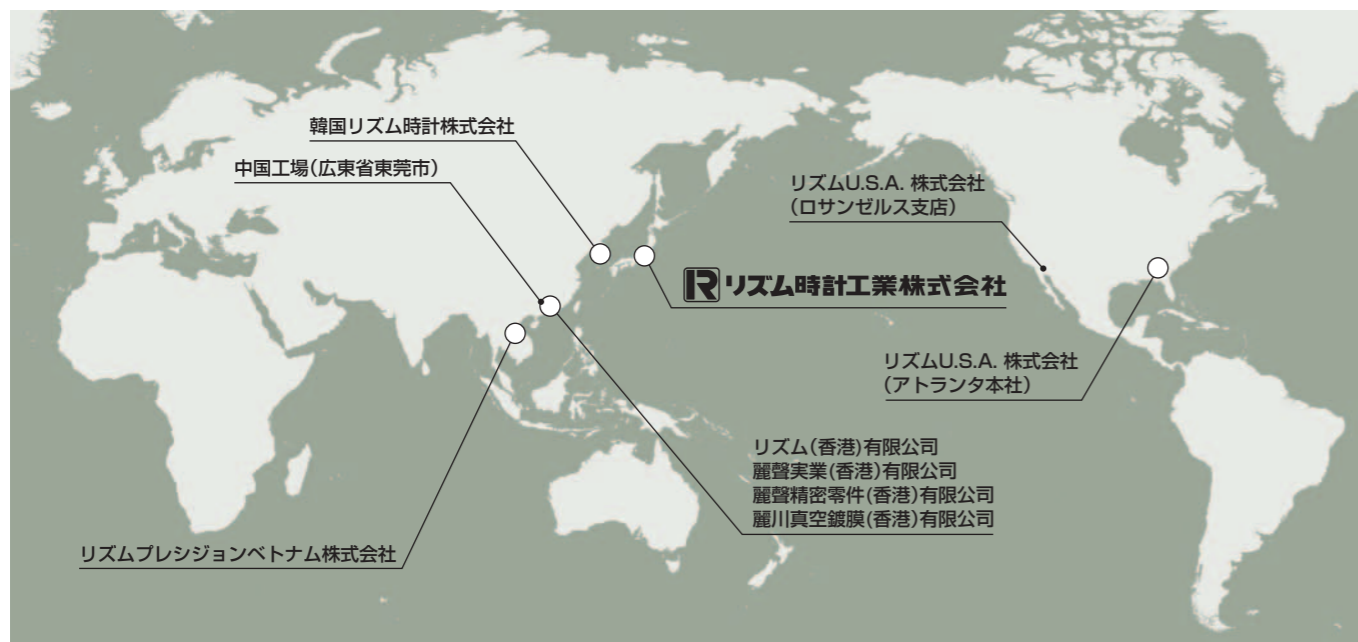
クロック事業

当連結会計年度のクロック事業の売上高は、14.1億6,000万円(前連結会計年度14.8億5,900万円)に対し4.7%の減収。営業損益は5,600万円の利益(前連結会計年度は6,000万円の損失)となりました。

電子事業

当連結会計年度の電子事業の売上高は、14.5億7,500万円(前連結会計年度14.8億2,100万円)に対し1.7%の減収。営業損益は11億6,400万円の利益(前連結会計年度13億6,800万円)に対し14.9%の減益となりました。

グローバルネットワーク



クロック事業への取り組み

海外事業

2007年3月期 クロック海外事業概況



拡大を続けている海外事業は、積極的な新戦略の展開により、さらなる成長を見込んでおります。

B R I C S や V I S T A といった注目市場やその他の新市場につきましても順調に開拓が進んでおり、今後は海外市場投資を加速させてクロックトックプメーカーとして、安定した国際的地位の確立を目指してまいります。

(1) アジア地区：販売会議・展示会 2006年7月タイ/バンコク (2) 中東地区：販売会議・展示会 2006年10月U.A.E./ドバイ (3) 欧州地区：販売会議・展示会 2006年6月チェコ/プラハ (4) リズムU.S.A. 株式会社 (5) ロサンゼルス支店の新設



海外生産拠点のご紹介

2005年に新たに新設・稼働させた中国工場は、その生産拠点の統合により、グループ全体の競争力強化を実現させております。

当初は、クロックの普及品を中心とした生産品目も、現在では、多くの高級品の生産も担うようになり、さらに、電子事業、金型・部品事業の生産拠点としても、その重要性が増しております。



中国工場



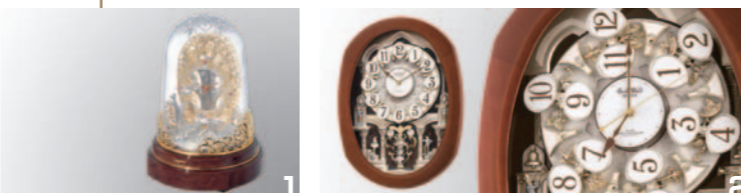
リズムU.S.A. 株式会社（米国ジョージア州アトランタ北米地域クロック販売会社）は、2007年5月に、カリフォルニア州トーランスに支店（ロサンゼルス支店）を新設いたしました。これにより、購買力の大きい米国西海岸の営業活動を強化するとともに北米地域における物流の効率化を図ってまいります。

国内事業

国内市場については、全社を挙げ新商品の競争力強化による業績の向上を旗印に総力を挙げ取り組んで参りました。その原資となったのが、他社には望むべくもない当社の歴史の中で培ってきた独自の技術であります。ここではそのほんの一例をご紹介します。

例えばクリスタルドームの中で小鳥がさえずる気品ある商品「秀丽」。その意外な動きで、誰もが驚く本格的なカラクリ時計「スモールワールドコンベル」。これらは高級品ラインナップの中で大きな役割を果たした商品です。また、時代のニーズに対応した商品では、一次電源を全く使用しない電波修正時計「エコライフシリーズ」を発売。環境面への関心の高まりと時代ニーズの先取りをソーラー電源搭載という技術で実現させた商品です。さらに、災害等の危機管理に敏感になっております現代社会に向け発売した商品が「デイフェリアシリーズ」です。クロックが人の命を救うために何ができるか、と言う命題の元、ラジオ、懐中電灯はもちろんのこと、今では無くてもならないライフラインのひとつであります携帯電話充電機能までをオールインワン。このような数々の特徴を持つ新商品をいち早く市場に送り出しました。これらのラインナップはいままでもなく高付

加価値商材であり、事業的には将来に向けた高収益商品であると確信を致しております。



(1) 秀丽 (2) スモールワールドコンベル (3) エコライフシリーズ (4) デイフェリアシリーズ



2007年3月期 クロック国内事業概況

既存商品の苦戦は、他社商品との明確な差別化要素が少ないこと、さらに新規性が弱く多くの商品バリエーションの間で当社同士のキャニバリ現象が発生している可能性を明確化する必要があると痛感しております。商品バリエーションの再度の見直しによる整合性のある合理化、統合、淘汰も含む再検討を実施致します。さらに、好調だった新製品に関し、当社独自の商品開発力、技術力を高めることは勿論生産から物流そして販売までの一貫体制を武器に総合クロックメーカーとして、シェアの拡大の最大化を図る所存でございます。



(1) 展示会風景 (2) 販売促進イベントの様子 (3) 高額商品展示会



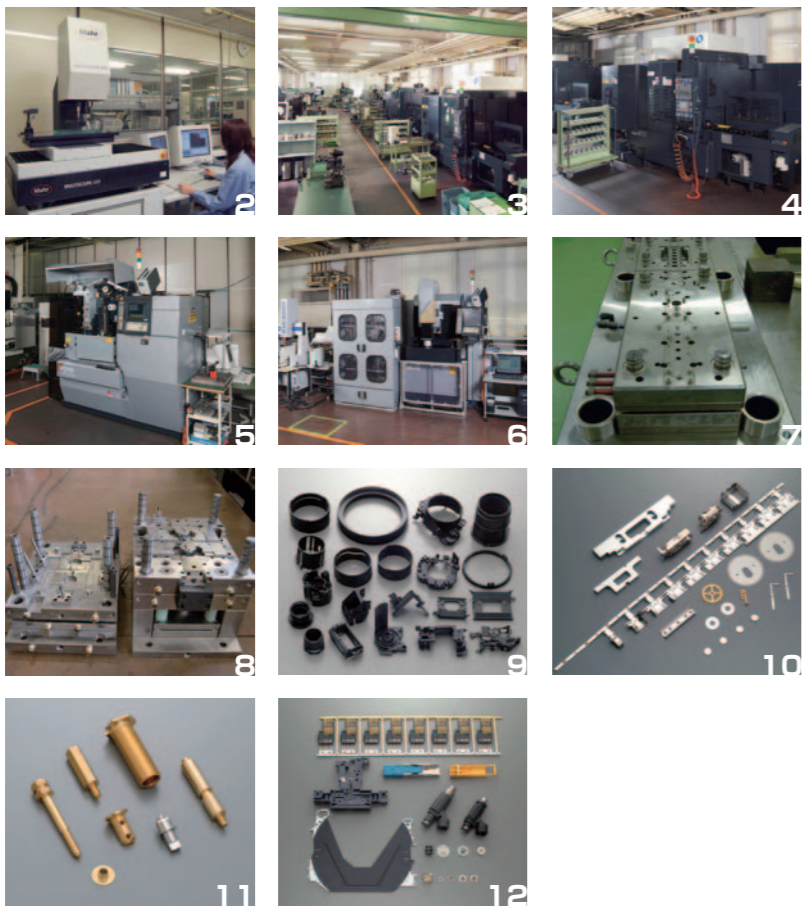
金型・部品事業



金型・部品事業の中核を担う東北リズム株式会社は、1977年に時計部品製造会社として設立して以来、時計という精密加工技術をベースに、一貫した品質管理体制のもとで、高性能の精密金型設計・製作から精密部品製作・組立まで、幅広い領域にわたる事業を展開し、高い評価をいただいております。

グローバル化が進む中、国内だけでなくワールドワイドでのベストパートナーとなるべく、2005年8月、ベトナムのハノイにありますノイバイ工業団地に現地法人「リズムプレジジョンベトナム」を設立しました。今後は国内と海外二拠点のネットワーク化により、海外においてもお客様の多様なニーズに迅速にお応えしていきます。

また、環境保全活動に積極的に取



(1) 3D-CAD/CAM (2) 3次元測定機 (3) NC機械加工ライン (4) 高速マシニングセンター (5) ワイヤ放電加工機 (6) 型彫放電加工機 (7) プレス金型 (8) モールド金型 (9) 精密機構部品 (10) プレス部品 (11) 旋削部品 (12) 複合成形品 (13) リズムプレジジョンベトナム株式会社

2007年3月期 金型・部品事業概況



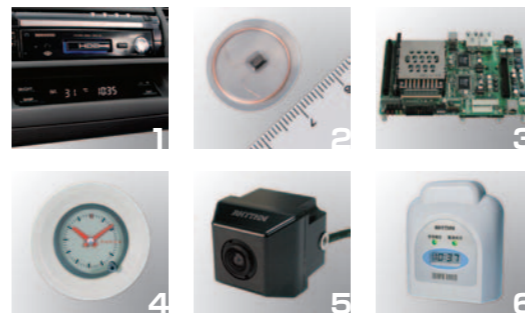
東北リズム株式会社では、リズムプレジジョンベトナムの社員に、定期的な技術研修を実施し、事業全体の技術力の向上を図っております。

金型・部品分野では、デジタル関連機器市場の需要拡大に対して、金型製作から部品供給、組立てまで一貫して対応できる強みを活かすべく、受注の拡大につなげるべく、注力して対応してまいりました。また、昨年3月より操業いたしましたリズムプレジジョンベトナム株式会社（ベトナムハノイ市）では、拡大する需要に応えるため第二工場を増設しております。

電子事業



当社の電子事業は、時計製造で培った精密技術を活かし、生活を支える様々な商品を通じてみなさまのお役に立てるよう努めてまいりました。21世紀、当社は新たな方向性から電子機器とシステムを捉え、「部品からシステムに至るまでの統合システム化」を実現し、市場に信頼される「開発支援型企業」として、製品やジャンルにこだわらず、お客様のご要望をカタチにすることにこだわり、より良いサービスをご提供できるよう総力をあげて日々挑戦しつづけます。



(1) インフォメーションモニター (2) RFID モジュール (3) 回路ユニット (4) アナログ時計 (5) 車載カメラ (6) 電波タイマー

ノウハウと創造力で必要な時に必要な製品・システムをタイムリーにご提供いたします。

情報機器分野：映像配信システム、遠隔店舗監視システム
自動車機器：映像機器分野：車載用クロック、車載用小型カメラ、アワーメーター他

半導体パッケージ、高密度実装部品他

2007年3月期 電子事業概況

電子事業につきましては、顧客企業に対し、積極的に新製品の企画提案を実施し、売上拡大に努めてまいりました。

情報機器分野では、顧客企業の市場の法改正対応の影響により、下半期からの出荷が減少し、また、価格競争も激しさを増したことから、業績は前年を下回るものとなりました。

映像機器関連分野では、市販用車載カメラの売上減少が響き、当分野の業績は厳しいものとなりました。一方、当連結会計年度におきましては、新たに自動車用表示パネルの生産を中国で開始するなど、保有技術を活かした事業拡大に取り組んでおります。



電子事業部 益子事業所

コーポレート・ガバナンスの状況

当社のコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、経営環境の変化に迅速に対応できる経営体制を確立するとともに、経営の透明性を高める観点から、経営監視体制の強化と有効性の確保に努めることが重要であると認識しております。また、株主・投資家重視のもと、透明性のあるディスクロージャー体制の充実に取り組んでおります。

会社の機関の基本説明

当社は監査役制度を採用しており、取締役8人（うち社外取締役1人）、監査役4人（うち社外監査役3人）であります。当社は、取締役会を当社事業に精通した取締役で構成することで、経営の効率化を図る一方、社外監査役を含む監査役機能の充実により、経営の健全性の強化をこれらも図っております。なお、当社の取締役は10名以内とする旨を定款で定めております。

会社の機関の内容及び内部統制システムの整備の状況

当社及び当社グループ経営に関わる重要事項は、法令または定款の定める事項のほか、取締役会規程の定める事項については、取締役会（原則月1回以上）において意思決定を行っております。取締役会での決定に基づき業務執行は、代表取締役社長の下、業務担当取締役、各部門長が迅速に遂行しております。また、内部統制機能を確立するため、組織規程においてそれぞれの組織権限や実行責任者の明確化、適切な業務手続を定めております。

さらに、取締役会の機能強化と迅速な意思決定を図るため、社内規程に従い、経営に係わる重要方針、重要課題等については、役員取締役及び常勤監査役で構成される「経営会議」（原則月1回以上）において協議し、業務全般の基本計画及び業務執行に関する重要事項については、常勤取締役及び常勤監査役で構成される「常務会」（原則月1回以上）において協議決定しております。

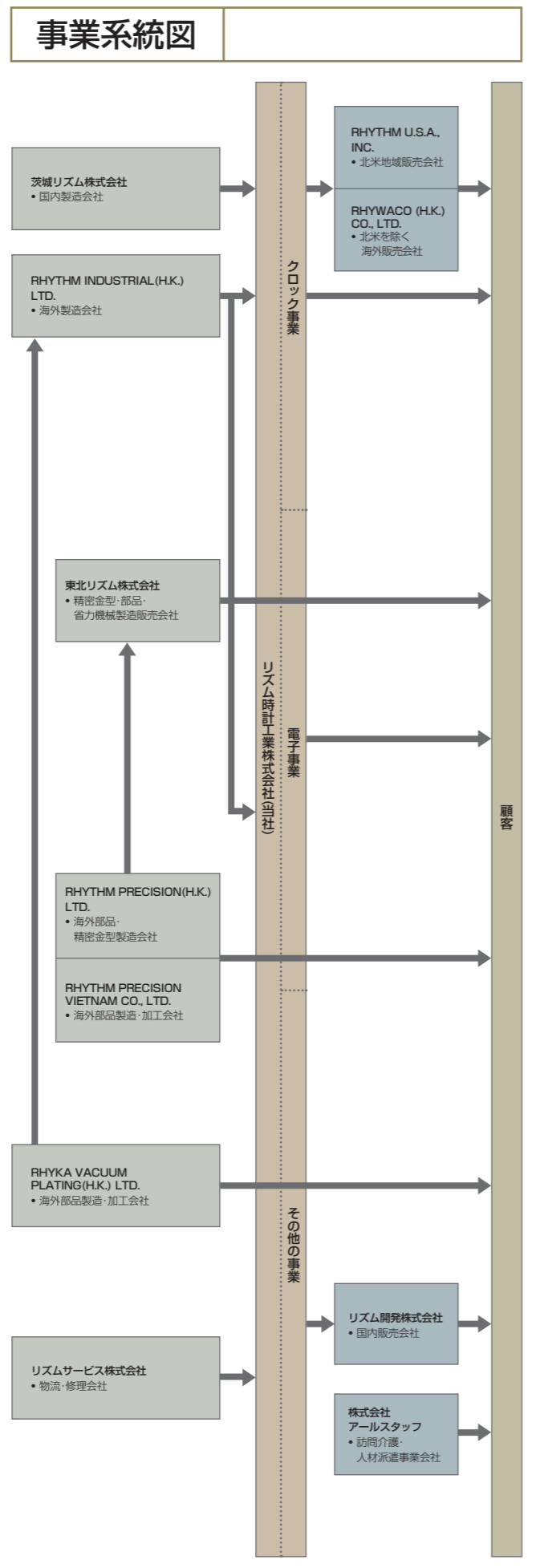
また、当社は、コンプライアンス行動指針を定め、顧客のご満足を最優先に考え行動することを基本方針に、また、法令を遵守することはもとより、社会規範を尊重し、良識ある企業活動を行うことを企業倫理としております。そして、コンプライアンス教育を通じ、全社員に徹底しております。

業務執行において、各部門長は、業務上の法令違反行為または法令適合性の疑問が生じた行為は、速やかに、コンプライアンス推進室に報告する義務を負っております。このコンプライアンス推進室では、コンプライアンス教育により順法意識の浸透および向上を図っており、さらに、社内通報制度を設けてその窓口となっております。

内部監査及び監査役監査の状況

監査役4名のうち1名は常勤監査役として常勤勤務し、非常勤監査役3名も取締役会に毎月参加するなど、取締役の職務執行を十分に監視できる体制になっており、各事業所へも定期的に行っております。内部監査については、企画総務部を中心に適正な業務執行がなされているが各部門・監査役間で定期的な確認をしております。また、監査役は会計監査人より半年毎に会計監査の方法と結果の報告を受けるなど、相互連携に努めております。

CORPORATE PROFILE



- ### 関係会社
- 国内**
- 東北リズム株式会社** (各種金型・精密部品・省力機械の製造販売)
〒965-0844 福島県会津若松市門田町大字一ノ塚字土手外 168
TEL. 0242-28-8074 FAX. 0242-28-2375
URL. http://www.trmk.co.jp/ e-mail. somu@trmk.co.jp
 - 茨城リズム株式会社** (時計の製造)
〒308-0112 茨城県筑西市藤ヶ谷 1500
TEL. 0296-37-3211 FAX. 0296-20-3131
URL. http://www.ibaraki-rhythm.co.jp/ e-mail. rhythm@ibarakiemail.ne.jp
 - リズムサービス株式会社** (時計の修理・一般貨物の配送)
〒308-0112 茨城県筑西市藤ヶ谷 1500
TEL. 0296-37-8381 FAX. 0296-37-8388
URL. http://www.rhythm-service.co.jp/ e-mail. info@rs.rhythm.co.jp
 - リズム開発株式会社** (時計およびギフト・雑貨等の販売、損害保険代理店)
〒330-9551 さいたま市大宮区北袋町 1-299-12
TEL. 048-643-7781 FAX. 048-643-8281
URL. http://www.rhythm.co.jp/rmk/index.htm e-mail. rkaihatsu@rmk.rhythm.co.jp
 - 株式会社アールスタッフ** (介護事業)
〒362-0075 埼玉県上尾市柏座 1-10-34
TEL. 048-771-6611 FAX. 048-771-6613
URL. http://www.r-staff.jp/ e-mail. info@r-staff.jp
- 海外**
- リズムU.S.A.株式会社/RHYTHM U.S.A., INC.** (Selling Clocks)
8601 Dunwoody Place, Suite 150 Atlanta, GA 30350 U.S.A.
TEL. 1-770-640-6311
URL. http://www.rhythmclock.com/ e-mail. rhythmusa@mindspring.com
 - リズム(香港)有限公司/RHYWACO (H.K.) CO., LTD.**
(Selling Clocks and Clock Movements)
7/F., Prosperity Center, 25 Chong Yip Street, Kwun Tong, Kowloon, Hong Kong TEL. 852-2790-3882
URL. http://www.rhythm.com.hk/ e-mail. rhywaco@rhythm.com.hk
 - 麗聲実業(香港)有限公司/RHYTHM INDUSTRIAL (H.K.) LTD.**
(Manufacturing Clocks and Clock Movements)
● **本社(Head Office)**
7/F., Prosperity Center, 25 Chong Yip Street, Kwun Tong, Kowloon, Hong Kong TEL. 852-2950-0995
● **中国工場(Chinese Factory)**
Dabandi Industrial Zone, Daning District, Humen Town, Dongguan City, Canton. P.R. China TEL. 86-769-8623-2302
 - 麗聲精密零件(香港)有限公司/RHYTHM PRECISION (H.K.) LTD.**
(Manufacturing of Injection Mold and Injection Precision Parts.)
● **本社(Head Office)**
7/F., Prosperity Center, 25 Chong Yip Street, Kwun Tong, Kowloon, Hong Kong TEL. 852-2950-0995
● **中国工場(Chinese Factory)**
Dabandi Industrial Zone, Daning District, Humen Town, Dongguan City, Canton. P.R. China TEL. 86-769-8623-2321
 - 麗川真空鍍膜(香港)有限公司/RHYKA VACUUM PLATING (H.K.) LTD.**
(Vacuum Plating and Painting)
7/F., Prosperity Center, 25 Chong Yip Street, Kwun Tong, Kowloon, Hong Kong TEL. 852-2950-0995
● **中国工場(Chinese Factory)**
Dabandi Industrial Zone, Daning District, Humen Town, Dongguan City, Canton. P.R. China TEL. 86-769-8623-2324
 - リズムプレジジョンベトナム株式会社/RHYTHM PRECISION VIETNAM CO., LTD.**
(Manufacturing of Injection Precision Parts.)
Lot No.42, Noi Bai Industrial Zone, Quang Tien, Soc Son District, Hanoi, Vietnam TEL. 84-4-582-1661
 - 韓国リズム時計株式会社/KOREA RHYTHM CO., LTD.** (Selling Clocks)
329-7, Banghwa-3-Dong, Kangseo-Gu, Seoul, Korea, 157-848
TEL. 82-2-2661-4292

International Organization for Standardization

「環境との共生」という命題に
当社は真正面から取り組んでいます。

優れた商品を作る、それはメーカーにとって、もはや当たり前のことになってきました。メーカーは商品を作ると共に、いかに人類、地球環境に寄与できるかが問われ始めています。「環境に優しい」という言葉が羽のように軽くなってきたことを、私たちは危惧しています。その言葉に、本当に具体的な裏付けがあるのか、それこそが重要だと考えるからです。一言で「環境に優しい」というのは容易なことですが、環境を語るためには様々な方向からの真剣な取り組みが必要です。例えばエネルギー消費の少ない商品の開発や工程管理、環境に悪影響を与えない素材の開発等、その具体的な成果が私たちにあります。ここでは、その一例としていくつかの成果をご報告させていただきます。

当社の品質・環境に対する取り組みを語る受賞・認証一覧

| | |
|-------|---|
| 1982年 | デミング賞実施賞を受賞 |
| 1995年 | 電子機器事業部でISO9002認証を取得 |
| 2000年 | 茨城リズム株式会社でISO9002認証を取得 |
| 2001年 | リズムサービス株式会社でISO9001認証を取得 |
| 2002年 | 電子事業部でISO9001認証を取得 RHYTHM PRECISION(H.K.)LTD. でISO9001認証を取得 |
| 2003年 | 東北リズム株式会社でISO9001認証を取得 東北リズム株式会社でISO14001認証を取得 |
| 2004年 | RHYTHM INDUSTRIAL(H.K.)LTD.でISO9001認証を取得 電子事業部益子事業所でISO14001認証を取得 本社・時計事業部でISO9001認証を取得 |
| 2005年 | クロック初のエコマーク取得商品発売 (ソーラー電源電波時計「ディゾン」) |



ディゾンM713: クロックとして初めてエコマーク商品に認定されたディゾンシリーズ。万一の充電切れも予告してくれるすぐれもの。手間いらずのソーラー電源電波時計。

エコマーク認定書: クロックとして、初のエコマークを「ディゾン」シリーズにて取得しました。認定番号は「05134001」。

益子事業所クリーン作戦: 益子事業所にて、事業所内にとどまらず、地域や地球環境と調和する奉仕として地域のゴミ拾いを実施。

デミング賞メダル: デミング賞実施賞は、「TQM」を実施し、その年度において顕著な業績の向上が認められる企業、または企業の事業部に対し授与されます。当社は、1982年に受賞、その伝統を連続と受け継いでいます。

Board of Directors / Auditors



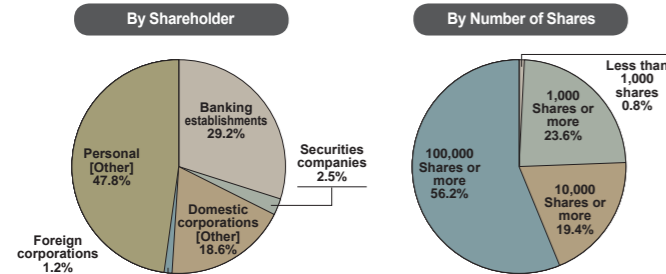
President and Representative Director Okawa Yasuhiro

| | |
|---------------------------------------|-------------------|
| President and Representative Director | Okawa Yasuhiro |
| Executive Managing Director | Nagata Katsushi |
| Executive Managing Director | Yokose Mikio |
| Managing Director | Shinohara Hideya |
| Director | Yumoto Takeo |
| Director | Koizumi Yuichi |
| Director | Kasama Tatsuo |
| Director | Umehara Makoto |
| Standing Corporate Auditor | Komatsubara Ryuji |
| Corporate Auditor | Miura Hiroshi |
| Corporate Auditor | Koizumi Hiroshi |
| Corporate Auditor | Tamura Susumu |

Major Shareholders

- | | |
|--|--|
| - CITIZEN WATCH CO., LTD | - The Musashino Bank, Ltd. |
| - The Kyoei Fire & Marine Insurance Company, Limited | - The Master Trust Bank of Japan, Ltd. |
| - Nippon Life Insurance Company | - JAPAN SECURITIES FINANCE CO., LTD. |
| - Saitama Resona Bank, Limited | - North Pacific Bank, Ltd. |
| - The Sumitomo Trust and Banking Co., Ltd. | |
| - Sumitomo Mitsui Banking Corporation | |

Shareholder Status



History

- Mar.1946** Established Nouson Tokei Seisakujo, the forerunner of RHYTHM WATCH CO., LTD.
- Nov.1950** RHYTHM WATCH CO., LTD. was established with its Head Office in Minato-ku, Tokyo and one factory located in Showa-Town, Kitakatsushika-gun, Saitama Pref. (now called Kasukabe City).
- Mar.1953** RHYTHM WATCH CO., LTD. concluded technical, sales, and capital tie-ups with Citizen Watch Co., Ltd. and Citizen Trading Co., Ltd.
- Apr. 1961** Established Ryusui Tokei Co., Ltd. (Minowamachi, Kamiinagun, Naganoken) by pooling by Rhythm Watch Co., Ltd., Ryusui, Citizen Watch Co., Ltd. and Citizen Trading Co., Ltd. (The company became Ryusui factory of Rhythm Watch and then Nagano Rhythm Co., Ltd. Currently it is integrated into Rhythm Watch Co., Ltd.)
- Aug.1963** RHYTHM WATCH CO., LTD. listed in the Second Section of the Tokyo Stock Exchange.
- Apr.1965** Mashiko Factory built in Mashiko-Town, Haga-Gun, Tochigi Pref.
- Sep.1969** RHYTHM WATCH CO., LTD. signed an agreement with Citizen Watch Co., Ltd. for the mutual use of brand names.
- Apr.1970** Aizu Factory (currently TOHOKU RHYTHM CO., LTD. a consolidated subsidiary) built in Aizuwakamatsu City, Fukushima Pref.
- Jan.1972** RHYTHM WATCH CO., LTD. transferred to the First Section of the Tokyo Stock Exchange.
- Apr.1973** RHYTHM WATCH CO., LTD. developed the world's first crystal clock movement, 4 MHz class
- Oct.1977** RHYTHM KOKI CO., LTD. (currently TOHOKU RHYTHM CO., LTD. a consolidated subsidiary) established in Aizuwakamatsu City, Fukushima Pref.
- Nov.1977** IBARAKI RHYTHM CO., LTD. (currently a consolidated subsidiary) established in Sekijo-Town, Makabe-Gun (currently Chikusei City), Ibaraki Pref.
- Apr.1978** RHYTHM SERVICE CO., LTD. (currently a consolidated subsidiary) established in Sekijo-Town, Makabe-Gun (currently Chikusei City), Ibaraki Pref.
- Nov.1982** RHYTHM U.S.A. INC. (currently a consolidated subsidiary) established.
- Apr.1989** RHYWACO (H.K.) CO., LTD. (currently a consolidated subsidiary) established.
- Feb.1990** RHYTHM INDUSTRIAL (H.K.) LTD. (currently a consolidated subsidiary) established.
- Mar.1992** RHYTHM PRECISION (H.K.) LTD. (currently a consolidated subsidiary) established.
- Dec.1994** RHYKA VACUUM PLATING (H.K.) LTD (currently a consolidated subsidiary) established.
- Jul.2005** Integrated factories in China and established a new subsidiary. Started production.
- Aug.2005** RHYTHM PRECISION VIETNAM CO., LTD. (currently a consolidated subsidiary) was established in Hanoi, Vietnam. Started sales of Dison (solar-powered radio controlled clock), the first clock recognized with the Eco Mark.

Company Profile

| | |
|--------------------------------|--|
| Established | November 7, 1950 |
| Capital | 12.372 billion (Yen) |
| Number of Employees | Parent company, 473; Consolidated: 851 |
| Principle Business Line | Manufacture and sales of clocks Manufacture and sales of electronics equipment and parts / Sales of jewelry and watches |
| Head Office | 299-12, Kitabukuro-chou 1-chome, Omiya-ku, Saitama-shi, Saitama 330-9551 TEL. 048-643-7211 FAX. 048-643-8490 |

| | |
|-----------------------|--|
| Mashiko Office | 2412 Hanawa, Mashiko-machi, Haga-gun, Tochigi 321-4296 TEL. 0285-72-1211 FAX.0285-70-8000 |
|-----------------------|--|

| | |
|---------------------------------------|--|
| Hokkaido Region Sapporo Office | New Gin Bldg. 3F, 2-4-1 Kikusui-3jyou, Shiroishi-ku, Sapporo-shi, Hokkaido 003-0803 TEL. 011-831-3311 |
|---------------------------------------|--|

| | |
|------------------------------------|---|
| Tohoku Region Sendai Office | 2-10-36 Miyagino, Miyagino-ku, Sendai-shi, Miyagi 983-0045 TEL. 022-291-3235 |
|------------------------------------|---|

| | |
|----------------------------------|--|
| Kanto Region Tokyo Branch | Ueno TG Bldg. 5F, 6-16-22 Ueno, Taitou-ku, Tokyo 110-0005 TEL. 03-5807-7814 |
|----------------------------------|--|

| | |
|-----------------------------------|---|
| Chubu Region Nagoya Branch | 5-19-31 Sakae, Naka-ku, Nagoya-shi, Aichi 460-0008 TEL. 052-264-4581 |
|-----------------------------------|---|

| | |
|-----------------------------------|---|
| Kansai Region Osaka Branch | 2-7-30 Minamisenba, Chuo-ku, Osaka-shi, Osaka 542-0081 TEL. 06-6264-2388 |
|-----------------------------------|---|

| | |
|--|---|
| Chugoku Region Hiroshima Office | Hiasa Bldg. 1F, 2-11-1 Ujinamiyuki, Minami-ku, Hiroshima-shi, Hiroshima 734-0015 TEL. 082-250-1596 |
|--|---|

| | |
|--------------------------------------|--|
| Shikoku Region Shikoku Office | 1-12-47 Ikku-cho, Niihama-shi, Ehime 792-0025 TEL. 0897-33-2707 |
|--------------------------------------|--|

| | |
|-------------------------------------|--|
| Kyushu Region Fukuoka Branch | 1-11-14 Hanmichibashi, Hataka-ku, Fukuoka-shi, Fukuoka 816-0897 TEL. 092-471-5585 |
|-------------------------------------|--|



RHYTHM WATCH CO., LTD. Head Office

役員



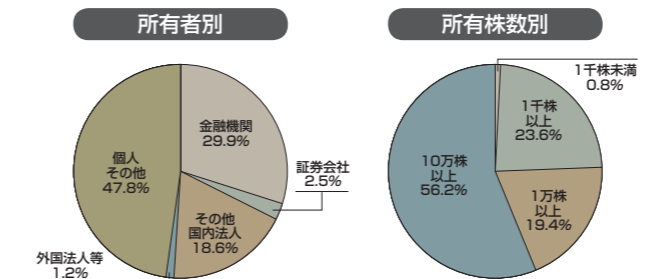
代表取締役社長 大川康寛

| | |
|---------|-------|
| 代表取締役社長 | 大川康寛 |
| 専務取締役 | 永田勝志 |
| 専務取締役 | 横瀬三亀夫 |
| 常務取締役 | 篠原英也 |
| 取締役 | 湯本武夫 |
| 取締役 | 小泉裕一 |
| 取締役 | 笠間達雄 |
| 取締役 | 梅小松原隆 |
| 常勤監査役 | 三浦弘志 |
| 監査役 | 小泉廣志 |
| 監査役 | 田村 |

大株主の状況

- | | |
|----------------|---------------------------|
| - シチズン時計株式会社 | - 株式会社 武蔵野銀行 |
| - 共栄火災海上保険株式会社 | - 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) |
| - 日本生命保険相互会社 | - 日本証券金融株式会社 |
| - 株式会社 埼玉りそな銀行 | - 株式会社北洋銀行 |
| - 住友信託銀行 株式会社 | |
| - 株式会社 三井住友銀行 | |

株主の状況



沿革

- 昭和21年 3月** 当社の前身である農村時計製作所設立
- 昭和25年11月** 当社設立 本社:東京都港区
工場:埼玉県北葛飾郡庄和町(現春日部市)
- 昭和28年 3月** シチズン時計株式会社、シチズン商事株式会社と技術・販売・資本提携
- 昭和36年 4月** 当社、龍水社、シチズン時計株式会社、シチズン商事株式会社の共同出資により、龍水時計株式会社(長野県上伊那郡箕輪町)を設立(当社竜水工場、長野リズム株式会社を経て、現在は同社の事業を当社へ統合)
- 昭和38年 8月** 東京証券取引所第二市場へ株式上場
- 昭和40年 4月** 益子工場(栃木県芳賀郡益子町)を新設
- 昭和44年 9月** シチズン時計株式会社と商標の相互使用に関する基本契約を締結
- 昭和45年 4月** 会津工場(福島県会津若松市)を新設(現東北リズム株式会社・現連結子会社)
- 昭和47年 1月** 東京証券取引所第一部市場へ指定替え
- 昭和48年 4月** 世界初4メガヘルツ級の水晶ムーブメントを開発
- 昭和52年10月** リズム工業株式会社(福島県会津若松市)を設立(現東北リズム株式会社・現連結子会社)
- 昭和52年11月** 茨城リズム株式会社(茨城県真壁郡岡城町(現筑西市))を設立(現連結子会社)
- 昭和53年 4月** リズムサービス株式会社(茨城県真壁郡岡城町(現筑西市))を設立(現連結子会社)
デミング賞実施賞を受賞
- 昭和57年11月** 米国にRHYTHM U.S.A. INC. を設立(現連結子会社)
- 平成元年 4月** 香港にRHYWACO (H.K.) CO., LTD. を設立(現連結子会社)
- 平成2年 2月** 香港にRHYTHM INDUSTRIAL (H.K.) LTD. を設立(現連結子会社)
- 平成4年 3月** 香港にRHYTHM PRECISION (H.K.) LTD. を設立(現連結子会社)
- 平成6年12月** 香港にRHYKA VACUUM PLATING (H.K.) LTD. を設立(現連結子会社)
- 平成17年 7月** 当社子会社 中国工場統合新設・稼働
- 平成17年 8月** ベトナムに RHYTHM PRECISION VIETNAM CO., LTD. を設立(現連結子会社)
クロック初のエコマーク取得商品発売(ソーラー電源電波時計「ディゾン」)

会社概要

| | |
|---------------|---|
| 設立 | 1950年(昭和25年)11月7日 |
| 資本金 | 123億72百万円 |
| 従業員数 | 当社 473人 連結 851人 |
| 主要営業品目 | クロックの製造・販売 電子部品、電子機器の製造販売 宝飾品・ウォッチの販売 |
| 本社 | 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町 1-299-12 TEL. 048-643-7211(代) FAX. 048-643-8490(代) |

| | |
|--------------|---|
| 益子事業所 | 〒321-4296 栃木県芳賀郡益子町塙 2412 TEL. 0285-72-1211(代) FAX. 0285-70-8000(代) |
|--------------|---|

| | |
|-------------------|---|
| 北海道地区札幌営業所 | 〒003-0803 北海道札幌市白石区菊水3条 2-4-1 ニューギンビル 3F TEL. 011-831-3311 |
|-------------------|---|

| | |
|------------------|---|
| 東北地区仙台営業所 | 〒983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野 2-10-36 TEL. 022-291-3235 |
|------------------|---|

| | |
|-----------------|---|
| 関東地区東京支店 | 〒110-0005 東京都台東区上野 6-16-22 上野TGビル5F TEL. 03-5807-7814 |
|-----------------|---|

| | |
|------------------|--|
| 中部地区名古屋支店 | 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 5-19-31 TEL. 052-264-4581 |
|------------------|--|

| | |
|-----------------|---|
| 関西地区大阪支店 | 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 2-7-30 TEL. 06-6264-2388 |
|-----------------|---|

| | |
|------------------|--|
| 中国地区広島営業所 | 〒734-0015 広島県広島市南区宇品御幸 2-11-1 日浅ビル1F TEL. 082-250-1596 |
|------------------|--|

| | |
|------------------|--|
| 四国地区四国営業所 | 〒792-0025 愛媛県新居浜市一宮町 1-12-47 TEL. 0897-33-2707 |
|------------------|--|

| | |
|-----------------|--|
| 九州地区福岡支店 | 〒816-0897 福岡県福岡市博多区半道橋 1-11-14 TEL. 092-471-5585 |
|-----------------|--|



リズム時計工業株式会社 本社

Our Corporate Governance Position

At Rhythm, we recognize that it is important to create a management system that can respond quickly to changes in the business environment and to strengthen management supervision while ensuring its effectiveness and transparency. We are also working to improve the disclosure and transparency of corporate information by focusing on the interests of our shareholders / investors.

Basic Policy of Corporate Governance

Our auditing system is comprised of eight members of the Board of Directors (including one outside board member) and four auditors (including three outside auditors). We have attempted to increase business efficiency by having the Board of Directors consist mainly of inside directors who have knowledge and experience in our business. We

are also looking to improve the soundness of management by enhancing the functions of the Board of Auditors including outside auditors. Furthermore, as stated in our Articles of Incorporation we are focused on keeping the Board of Directors restricted to ten members or less.

Our Position on Improving Internal Control Systems and Operational Details

Important policies and issues related to the management of our company and group companies, including matters required by applicable laws and regulations and as stipulated by the company's Articles of Incorporation, are determined by the Board of Directors which meets in principle once per month. The directors and general managers of each division, under the direction of the President and Representative Director, swiftly and promptly execute the operations determined by the Board of Directors. To establish internal controls, the roles, relationships, responsibilities, and authority of each person, group, section, division, and department are clearly defined in our organization regulations, along with the appropriate business procedures. In order to promote rapid decision-making and the functional enhancement of the Board of Directors, important policies and issues are discussed according to

internal rules by the Management Committee, comprising titled directors and full-time statutory auditors. The Management Committee meets at least once per month. Important matters of basic policy regarding general business and operational execution are discussed and determined by the Executive Committee, comprised of full-time directors and full-time statutory auditors. The Executive Committee meets at least once per month.

We stipulate Action Guidelines for Compliance and define our Corporate Ethics as respecting the social norms and taking sensible courses of action. In addition, we strive to always comply with laws and regulations based on our basic philosophy of making customer satisfaction paramount. We ensure that all our employees comply with the Guidelines and Ethics through training/educational sessions on compliance.

Internal Auditors and Auditing Structure

We have established an auditing system in which our four auditors can effectively supervise the execution of the business by the Board of Directors. One of the auditors is a full-time statutory auditor, and three are part-time auditors who attend the Board of Directors meeting each month. In addition, a regular audit is conducted at relevant offices. With respect to the internal audit, our auditors regularly confirm that each

division, and particularly the Corporate Planning and General Affairs Division, is conducting appropriate operations.

The auditors endeavor to maintain a level of mutual cooperation with the auditing firm by reviewing reports associated with auditing methods and results from the auditing every six months.

International Organization for Standardization

A list of awards and recognitions representing Rhythm's commitment to the environment and quality control:

- 1982 - Awarded the Deming Application Prize.
- 1995 - The Electronics Equipment Division obtained ISO9002 certification.
- 2000 - IBARAKI RHYTHM CO., LTD. obtained ISO9002 certification.
- 2001 - RHYTHM SERVICE CO., LTD. obtained ISO9001 certification.
- 2002 - The Electronics Division obtained ISO9001 certification.
- RHYTHM PRECISION (H.K.) LTD. obtained ISO9001 certification.
- 2003 - TOHOKU RHYTHM CO., LTD. obtained ISO9001 certification.
- TOHOKU RHYTHM CO., LTD. obtained ISO14001 certification.
- 2004 - RHYTHM INDUSTRIAL (H.K.) LTD. obtained ISO9001 certification.
- The Electronics Business Division of Mashiko Office obtained ISO14001 certification.
- Head Office/Clock Business Division obtained ISO9001 certification.
- 2005 - Started the sales for Dison (solar-powered radio controlled clock), the first clock that obtained the Eco Mark



At Rhythm we continue to strive to become, "One with our environment."

Manufacturing an excellent product is easy for modern manufacturers. However, not one to simply stick with the status quo, Rhythm has looked inward to ask how we can contribute to society and the environment. We are worried that the phrase "Environmental Friendly" is becoming meaningless, and we feel that it is more important to back up our words with actions.

It's easy to boldly state that "our company is environmentally conscious," but it takes a truly dedicated effort to make it a reality. Advanced operation management, new energy-saving technology, and the development of environmentally-friendly materials are all necessary fundamentals which Rhythm is pleased to have incorporated. The perfect example of a commitment to environmentally-conscious standards can be found in our innovative Dison M713 clock. This clock uses solar-powered batteries in place of traditional power sources. In addition, it is the first solar-powered radio-controlled clock to display highly accurate times with less than a one-second change over the course of a year; it also received an Eco Mark, or eco-friendly seal-of-approval – a clock industry first. We are also happy to report that the clock was produced according to the RoHS Directive in Europe.



Dison M713: The first clock to be awarded an Eco Mark from the Japan Environmental Association. The clock will additionally notify you in when its battery is running out. It's a solar-powered, radio-controlled clock that doesn't need to be maintained on a regular basis.



Eco Mark Certificate: We were granted the Eco Mark for the "Dison" series, the first clock to receive the Eco Mark. The certificate number is "05 134 001".



Operation Clean at Mashiko Office: Conducted garbage pick-up activities not just inside the facilities but also in the surrounding areas to serve the local society and to show our commitment to the environment.



Deming Prize Medal: The Deming Application Prize is granted to a company or a division of a company that achieved excellent business results through "TQC" activities. Although Rhythm Watch received the prize in 1982, our commitment to excellence that led to this award continues on even to this day.

Affiliated Companies

Domestic

TOHOKU RHYTHM CO., LTD.

(Sales and Production of Multi-variety Injection Mold / Injection Precision Parts / Labor-saving Machines)
168 Aza Dotesoto, Ooaza Ichinoseki, Mondenmachi, Aizu Wakamatsu-shi, Fukushima 965-0844
TEL. 0242-28-8074 FAX. 0242-28-2375
URL. <http://www.trmk.co.jp/> e-mail. somu@trmk.co.jp

IBARAKI RHYTHM CO., LTD. (Clock Production)

1500 Fujigaya, Chikusei-shi, Ibaraki 308-0112
TEL. 0296-37-3211
URL. <http://www.ibaraki-rhythm.co.jp/> e-mail. rhythm@ibaraki.email.ne.jp

RHYTHM SERVICE CO., LTD. (Clock Repairs / General Delivery Service)

1500 Fujigaya, Chikusei-shi, Ibaraki 308-0112
TEL. 0296-37-8381 FAX. 0296-37-8388
URL. <http://www.rhythm-service.co.jp/> e-mail. info@rs.rhythm.co.jp

RHYTHM KAIHATSU CO., LTD.

(Clock and Gift Sales / Accident Insurance Agent)
1-299-12 Kitafukuro-chou, Omiya-ku, Saitama-shi, Saitama 330-9551
TEL. 048-643-7781 FAX. 048-643-8281
URL. <http://www.rhythm.co.jp/rmk/index.htm>
e-mail. rkaihatsu@rmk.rhythm.co.jp

R STAFF CO., LTD. (Nursing Care)

1-10-34 Kashiwaza, Ageo-shi, Saitama 362-0075
TEL. 048-771-6611 FAX. 048-771-6613
URL. <http://www.r-staff.jp/> e-mail. info@r-staff.jp

Overseas

RHYTHM U.S.A., INC. (Selling Clocks)

8601 Dunwoody Place, Suite 150 Atlanta, GA 30350 U.S.A.
TEL. 1-770-640-6311
URL. <http://www.rhythmclock.com/> e-mail. rhythmusa@mindspring.com

RHYWACO (H.K.) CO., LTD. (Selling Clocks and Clock Movements)

7/F., Prosperity Center, 25 Chong Yip Street, Kwun Tong, Kowloon, Hong Kong
TEL. 852-2790-3882
URL. <http://www.rhythm.com.hk/> e-mail. rhywaco@rhythm.com.hk

RHYTHM INDUSTRIAL (H.K.) LTD.

(Manufacturing Clocks and Clock Movements)
• **Head Office**
7/F., Prosperity Center, 25 Chong Yip Street, Kwun Tong, Kowloon, Hong Kong
TEL. 852-2950-0995
• **Chinese Factory**
Dabandi Industrial Zone, Daning District. Humen Town, Dongguan City, Canton. P.R. China
TEL. 86-769-8623-2302

RHYTHM PRECISION (H.K.) LTD.

(Manufacturing of Injection Mold and Injection Precision Parts.)
• **Head Office**
7/F., Prosperity Center, 25 Chong Yip Street, Kwun Tong, Kowloon, Hong Kong
TEL. 852-2950-0995
• **Chinese Factory**
Dabandi Industrial Zone, Daning District. Humen Town, Dongguan City, Canton. P.R. China
TEL. 86-769-8623-2321

RHYKA VACUUM PLATING (H.K.) LTD.

(Vacuum Plating and Painting)
• **Head Office**
7/F., Prosperity Center, 25 Chong Yip Street, Kwun Tong, Kowloon, Hong Kong
TEL. 852-2950-0995
• **Chinese Factory**
Dabandi Industrial Zone, Daning District. Humen Town, Dongguan City, Canton. P.R. China
TEL. 86-769-8623-2324

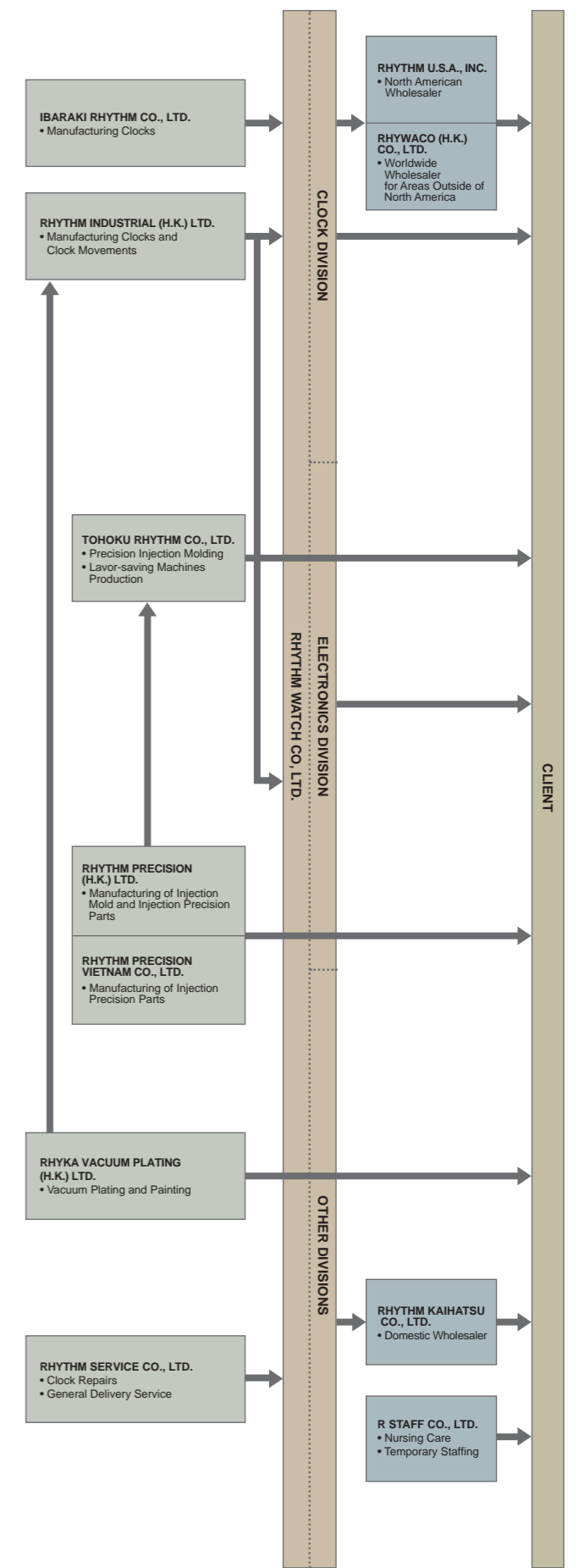
RHYTHM PRECISION VIETNAM CO., LTD.

(Manufacturing of Injection Precision Parts.)
Lot No.42, Noi Bai Industrial Zone, Quang Tien, Soc Son District, Hanoi, Vietnam
TEL. 84-4-582-1661

KOREA RHYTHM CO., LTD. (Selling Clocks)

329-7, Banghwa-3-Dong, Kangseo-Gu, Seoul, Korea 157-848
TEL. 82-2-2661-4292

Corporate Structure



Electronics Division



By making use of precision technology learned from the manufacturing of clocks, the Rhythm electronics division is working its hardest to create products that will prove useful for all lifestyles. In the 21st century, Rhythm is making strides to develop a “unified system from parts to systems,” and by becoming a “Development Support Enterprise” that the market can rely on, regardless of product or category, we will continue to become a better company that meets the demands of customers and provides the best possible service.

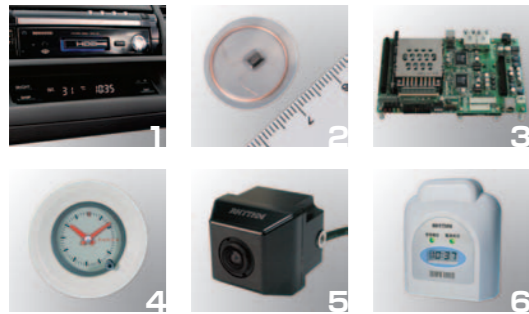
Equipment Division

The equipment division is looking to expand further into the field of electronic equipment by making use of the precise technology used in automobile clocks. The division will meet the demands of users, “from products to systems,” using a wealth of know-how and creativity to create the right products for the right time and offering a timely system.

Parts Division

Rhythm’s Parts Operation is not limited by product categories – we adapt to meet the demands of customers. We can respond to a wide variety of needs from products to systems using our wealth of know-how and creativity, and we can create the right products for the right times in a timely manner.

Semiconductor packaging,
high density mounting parts, etc.



(1) Information Monitor (2) RFID Module (3) Circuit Board
(4) Analog Clock (5) Automotive Onboard Camera (6) Radio Controlled Timer

Information-processing equipment field
Video delivery system,
remote monitoring systems, etc.

**Automobile equipment /
Video equipment field**
Automotive clocks, automotive miniature
cameras, hour meter, etc.

Electronics Division (Financial Review for the Fiscal Year Ended March 2007)

The electronics division is making a consistent effort to proactively provide plans for new products and increase sales for client companies.

In the information-processing equipment field, in response to market legal revisions by client companies, shipping was reduced in the latter half of the year and due to the intensity of price wars, business performance decreased in the first half of the year.

In the video equipment field, due to the decreased sale of commercial-use automotive camera sales, business performance was quite severe. This fiscal year we will be beginning production of a new automotive display panel in China and we will be looking to expand business by making use of our current technology.



Electronics Division, Mashiko Office

TOHOKU RHYTHM CO., LTD.
(Injection Precision Parts)

Electronics Division
Mashiko Office

RHYTHM WATCH CO., LTD.
Head Office, Electronics Division

RHYTHM INDUSTRIAL (H.K.) LTD.
RHYTHM PRECISION (H.K.) LTD.
Chinese Factory (Dongguan City, Canton)

RHYTHM PRECISION VIETNAM CO., LTD.
(Manufacturing of Injection Precision Parts.)

Injection Mold / Parts Division

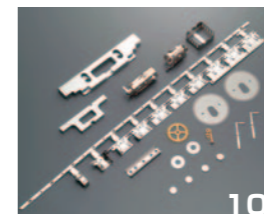
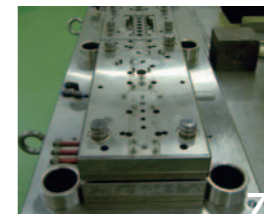
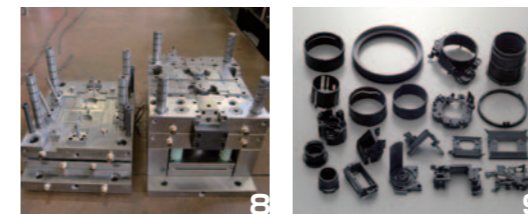


With the injection mold / parts division at its core, Tohoku Rhythm Co., Ltd. was founded as a clock parts manufacturer in 1977. Using technology learned from this clock production, Tohoku Rhythm then used a consistent product quality management system to expand its business over a wide area of expertise from high performance mold designing and the development of new technologies to assembly itself – they have received strong acclaim for their efforts.

Tohoku Rhythm has continued to expand globally by moving not only into China, but also into Vietnam. In August of 2005, Rhythm Precision Vietnam was established in Hanoi, and in March of 2006 it opened its doors for business. By creating a network of domestic and overseas operations, we will be able to respond more rapidly to the needs of customers in other countries as well.

In addition, along with continuing our proactive approach to preserving the environment and by brainstorming new technologies / nourishing human resources, there won't be anything we aren't prepared for as we head into the next generation of Rhythm.

We will continue to maintain a positive outlook on business thereby further strengthening our four areas of expertise – injection molding, parts, automated equipment, and assembly. We will expand even further into additional fields including optics, automobiles, office equipment, and medical equipment, and we will put forth all of our energy into making a company that creates happier more satisfied customers.



(1) 3D-CAD/CAM (2) 3-dimensional Measuring Instrument (3) NC Machinery Processing Line (4) High Speed Machining Center (5) Wire EDM (6) EDM (7) Mold for Metal Stamping (8) Mold for Injection (9) Parts for Precision Machinery (10) Parts made by Metal Stamping (11) Parts made by Lathe (12) Composite Cast (13) Rhythm Precision Vietnam Co., Ltd.

Injection Mold / Parts Division (Financial Review for the Fiscal Year Ended March 2007)



In the field of Injection Molding we've seen an increased call for equipment in the digital market, and by taking advantage of our strength of response to molding production and part supply we have been able to increase our orders received. In addition, at Rhythm Precision Vietnam located in Hanoi, which has been operating since March of last year, we have been moving forward with expansions to the 2nd factory to meet with demand.

Tohoku Rhythm regularly hosts technical lectures for engineers of Rhythm Precision Vietnam to raise the engineering potential for their entire division.

Our Clock Business Policy.

Domestic Market

On the domestic front, we focused our energy into strengthening new products to improve our bottom line based on technology cultivated over the course of Rhythm's history. All of the technology is unique only to Rhythm, and we would like to take this opportunity to introduce some of our newer ideas: The Shuurei, translated as "The Beauty," is an elegant clock with a small mechanical bird perched inside a crystal dome –

with this model you can pass the time to the cheerful chirping of this cute little creature. The Small World Con Bell is a magic motion clock that will astonish everyone with its unexpected performances. These products have played a tremendous role in the success of Rhythm's high-end clock line-up.

To meet the social requirements of today, we have also introduced the Eco Life Series - a series of radio-controlled

clocks that avoids the use of traditional power sources. This series was produced to anticipate an increased interest in eco-friendly products, and the entire line-up makes use of solar-powered batteries. Rhythm has also produced the Differia Series which is mainly focused at those customers who are sensitive to natural disasters and have incorporated risk management into their daily routine; this series was developed with a concept of, "saving lives with clocks." All of the clocks in this series are equipped with a power charger for mobile phones, crucial in an emergency, as well as a flash light and a radio; recognizing the importance of these functions, we brought this series to the marketplace with considerable speed.

All of these unique ideas developed by Rhythm provide a considerable amount of added value and we consider them to be a strong source of profitability in the future.



(1) Shuurei (2) Small World Con Bell (3) Eco Life Series (4) Differia Series



Clock Division (Domestic Market Financial Review for the Fiscal Year Ended March 2007)

We strongly feel that the major obstacle to the sale of current products is that our line-up of products lacks a clear differentiation and a versatile product variation – this could possibly indicate the presence of cannibalism. We need to reevaluate the variation in our current line-up by both integrating and culling products to stream-line the selection. Moreover, using those new products that gained in popularity, in addition to strengthening our unique product development ability and technology, we will aim to dramatically expand our market share by establishing integrated systems for production, logistics and sales and ultimately work toward becoming the leading comprehensive clock manufacturer in Japan.



(1) On the scene of the exhibition (2) A sales promotion event (3) Luxury item exhibition



Overseas Market

Clock Division (Overseas Market Financial Review for the Fiscal Year Ended March 2007)

Clock Division's overseas business showed positive results with our aggressive marketing strategy and encompassed tremendous future potential for growth. For the rapidly growing markets such as BRICs and VISTA, we have made steady progress and we will continue to nurture investments overseas to maintain our leading position in the global clock market.



(1) Asia: Salesperson meeting and exhibition, July 2006, Thailand/Bangkok (2) Middle East: Salesperson meeting and exhibition, October 2006, U.A.E./Dubai (3) Europe: Salesperson meeting and exhibition, July 2006, Czech Republic/Prague (4) Rhythm U.S.A., Inc. (5) Establishment of Los Angeles Branch



Rhythm U.S.A., Inc. (Located in Atlanta, Georgia – a North American Clock wholesaler) opened the Los Angeles Branch in May, 2007 in Torrance, California. This not only strengthened sales activity on the US West Coast, known for its large buying power, but also made distribution in North America more efficient.

An Introduction of Overseas Production Operation

Chinese factory that started operation in 2005 increased the competitive power of Rhythm Group by integrating production facilities. Initially, the factory started as a production unit for producing standard clocks, today the factory has grown in importance by serving as a main facility for producing mid to high priced clocks as well as electronics parts, molds and parts.



Chinese Factory

For a half century Rhythm has pursued the satisfaction of customers in Japan and we are now looking to develop a sense of satisfaction among customers around the world.



Founded in the era of hand-winding clocks, Rhythm has continually produced products that match the needs of and appeal to the senses of our customers. Without these products, trust in Rhythm and our future prospects would have been nonexistent.

Modern time is razor-precise. Never before has one minute or even one second been more important. At the same time, we've started seeing reports of increased stress caused by an overemphasis on time in our society, and we have products and information moving around the world at breakneck speeds to assist markets

in developing Asian countries. With the world being as busy as it is, I believe that Rhythm's expertise on a global scale is more important than ever.

We have always felt that Rhythm's contributions to society should be through our basic business strategy of manufacturing clocks and electronics. Our contributions come in the form of ultra-precise radio-controlled clocks that understand the importance of your time or in the form of our unique magic motion clocks that add a touch of enjoyment to your life. Rhythm will continue to look to the future to produce electronics that meet the needs of all users and create a more comfortable life for everyone.

The satisfaction of a customer is the starting point of our business and we make it our responsibility to be the first to find and provide products that will be useful to our customers all over the world. We will continue

to consciously maintain a sense of corporate responsibility and as an excellent corporate citizen Rhythm will keep an eye on both domestic and overseas markets to seek out chances for the aggressive marketing of our businesses. Rhythm will continue to move forward, and we would like to ask our stockholders and everyone supporting us for further assistance in the future.

Y. Okawa
Yasuhiro Okawa
President, RHYTHM WATCH CO., LTD.



(1) Puldigit R048 (2) Differia 022 (3) Small World Mennet G (4) Brierer R680 (5) Pulmuse M463 (6) Eco Life M614

Summary of the fiscal year ended March 2007

Market Situation of the Industry

The Japanese economy still shows signs of weakness in the growth rate of consumption, but overall the Japanese economy is recovering. Statistically speaking, the effects of the recovery are not extremely significant but they are expected to spill over onto consumer spending (the fiscal year ended March 31, 2007). In addition, although the global economy is seen as an expanding market, it's hard to deny the severity of the market for the clock industry. Despite our best efforts to develop products that meet the needs of customers and reduce costs, the results weren't promising. Especially, in

the information electronics field, the sales dropped from the previous year resulting in decreased overall sales and profits for the electronics division. To improve the current financial situation and increase our corporate value, Rhythm will carefully select business fields and raise efficiency further. At the same time, with focus on expanding business to create a new business model and we are determined to make full use of sales branches and production facilities all over the world.

Consolidated Financial Report of the Fiscal Year Ended March 2007

Consolidated sales for this fiscal year under review totaled ¥31.918 billion (a 2.7 % decrease compared to the previous fiscal year's sales of ¥32.812 billion). Operating loss totaled ¥17 million (last fiscal year saw operating profits of ¥88 million). In an ordinary profit, adding profit of ¥253 million of rental revenue and revenue from trust assets to non-operating income, we marked the profit of ¥305 million (a 49.2 % decrease compared to the previous fiscal year's consolidated profit of ¥602 million). The net income

was ¥950 million (97.4% increase compared to the previous fiscal year's profit of ¥481 million) including extraordinary profit of ¥1.292 billion by liquidating an affiliate company and loss of ¥476 million by disposal of inventory and fixed assets. The main causes of these figures are decrease in clock sales quantity and increase in the cost. To clarify the problems we will stream-line and increase efficiency in business.

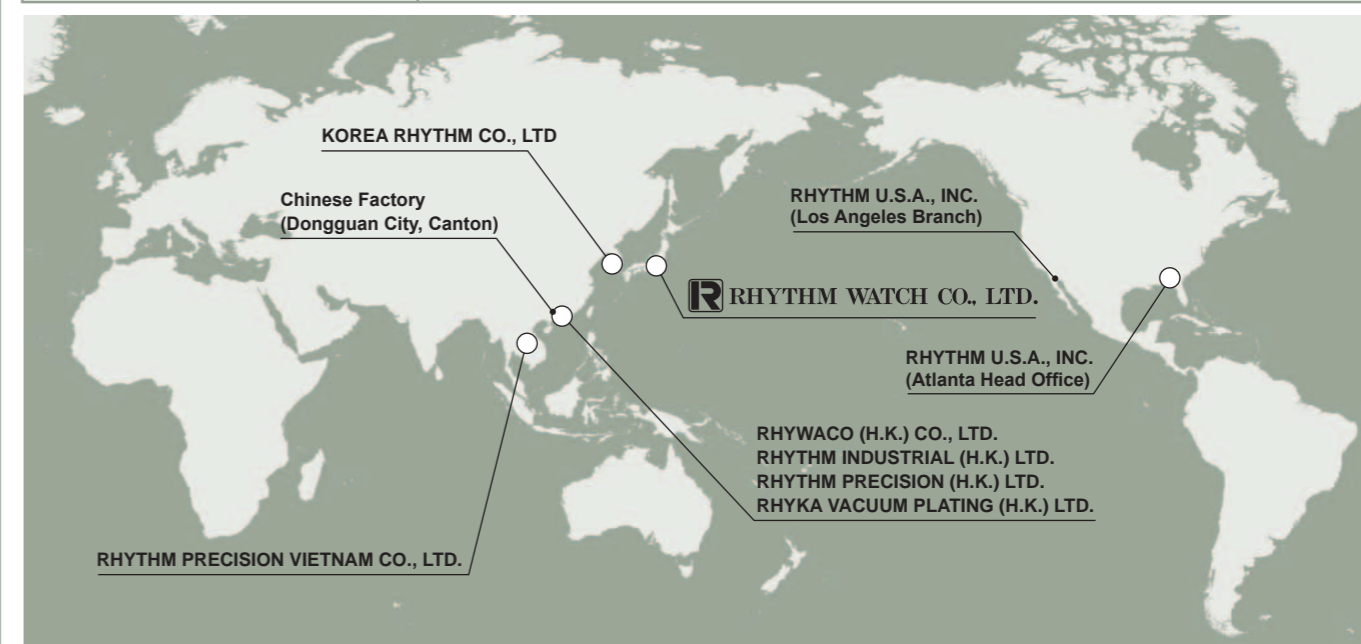
Clock Division

Consolidated sales for the clock division this fiscal year totaled ¥14.16 billion (a 4.7% decrease from the previous year total of ¥14.859 billion), and operating profits were at ¥56 million (compared to a previous year loss of ¥60 million).

Electronics Division

Consolidated sales for the electronics division this fiscal year totaled ¥14.575 billion (a 1.7% decrease from the previous year total of ¥14.821 billion), and operating profits were at ¥1.164 billion (down 14.9% from the previous year profit of ¥1.368 billion).

Global network



Reality is the work of dreams.

John Smith's morning starts off with a cup of coffee in front of a Van Gogh masterpiece.

As John stands in his living room taking in the vibrant colors of Van Gogh's renowned **Sunflowers**, the room is enveloped in a beautiful melody by Vivaldi coming from a music box. The classical piece signifies that it's 8am and time to head to work. John hops in his car, starts the engine and slowly backs out of his garage. With the help of his car's **built-in camera** he safely navigates onto the street and brimming with confidence John begins another productive day on a positive note.

Arriving at his office and sitting down at his desk, John starts his to-do list by phoning the company call center on his **latest mobile phone**.

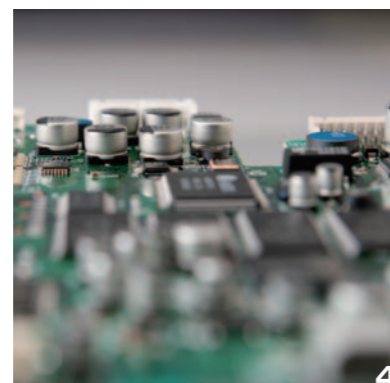
"It's a wonderful day, isn't it Mr. Smith?" the woman on the other end of the line says. "Not a cloud in the sky and traffic was brisk as usual." The woman on the phone is a Ms. Lakshmi, and while it sounds like

she's just down the hall, in reality she's thousands of miles away in Bangalore, India. John, who is in California, is of course unaware of this, but Ms. Lakshmi has all the necessary resources to make Mr. Smith feel right at home.

The secret to Ms. Lakshmi's knowledge is simple – the **clock** set on her desk is displaying both the 11pm of India and the 8:30am of California and her PC has a **display** with the up-to-the-minute weather and traffic of John's area. In other words, this simple exchange of dialogue is being made possible with a number of **RHYTHM-developed technologies**.

John Smith uses modern technology to support his daily life, and you too can enjoy each day in much the same way as

John and his fantastic surroundings.



(1) Picturesque CLOISSONÉ Clock "Shikou" (2) Automotive Onboard Camera (3) World Time Clock (4) Surface Mount Technology (5) Disk System Musical Box Clock "V-HG7"

TABLE of CONTENTS |

| | |
|--|----|
| Financial Overview | 2 |
| Greetings from RHYTHM | 3 |
| Summary of the Fiscal Year Ending 2007 | |
| Global Network | 4 |
| Clock Division | |
| Domestic / Overseas | 5 |
| Electronics Division | 7 |
| Injection Mold / Parts Division | 8 |
| Corporate Governance | 9 |
| Environmental Policy | |
| Corporate Profile | 10 |



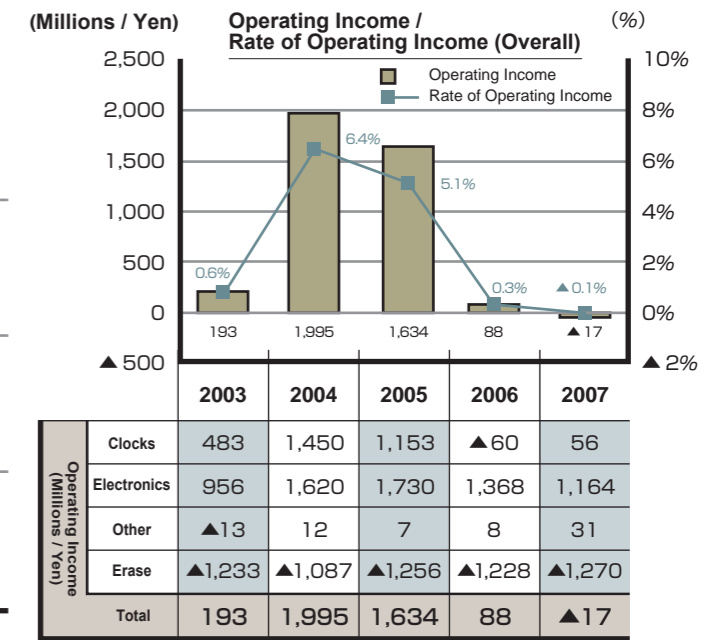
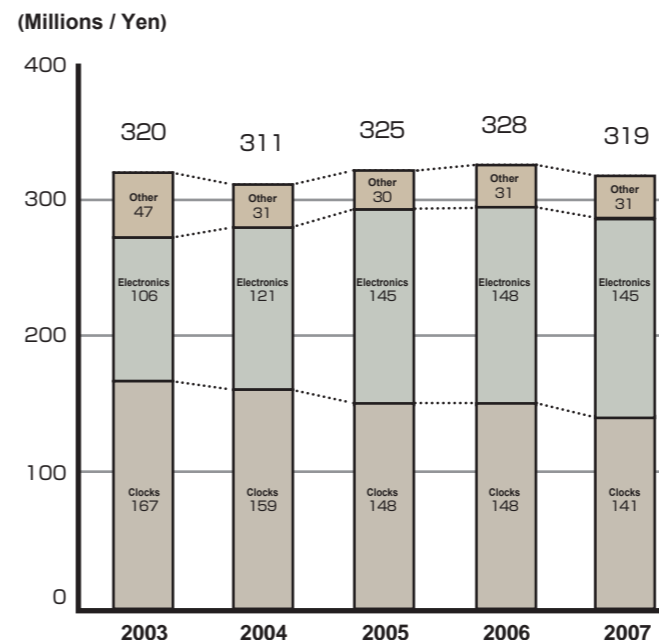
Financial Overview

Rhythm Watch Co., Ltd. and Affiliated Companies / Summary of Consolidated Results
Fiscal Year Ended March 2007 / For Fiscal Year Ended March 31

| | 2007 | 2006 | 2007/2006 | 2007 |
|----------------------|--------------|--------|---------------------------------|-------------------------|
| | Millions/Yen | | Compared with the previous year | Millions of U.S.Dollars |
| Net sales | 31,918 | 32,812 | 97.3% | 270.49 |
| Operating income | △ 17 | 88 | — | △ 0.14 |
| Ordinary income | 305 | 602 | 50.8% | 2.58 |
| Net income | 950 | 481 | 197.4% | 8.05 |
| Total assets | 44,915 | 45,844 | 98.0% | 380.64 |
| Accounting capital | 36,590 | 36,080 | 101.4% | 310.08 |
| Cost depreciation | 1,398 | 1,395 | 100.2% | 11.85 |
| Capital investment | 1,362 | 1,687 | 80.7% | 11.54 |
| | Yen | | | U.S.Dollars |
| Book-value per share | 269.02 | 265.07 | 101.5% | 2.28 |
| Earnings per share | 6.99 | 3.49 | 200.3% | 0.06 |
| Dividends per share | 2.00 | 2.00 | 100.0% | 0.02 |
| | Employees | | | |
| Number of employees | 851 | 829 | 102.7% | |

※Dollars (\$) are the currency of the United States. The conversion rate is \$1 = ¥118 unless otherwise stated.
※Note concerning future outlook – The projections contained within this document are based on figures available at the time of Annual Report creation and may vary from current business performance due to various factors.

Shift in Net Sales (Segment View)



| Operating Income (Millions / Yen) | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 |
|-----------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| Clocks | 483 | 1,450 | 1,153 | ▲60 | 56 |
| Electronics | 956 | 1,620 | 1,730 | 1,368 | 1,164 |
| Other | ▲13 | 12 | 7 | 8 | 31 |
| Erase | ▲1,233 | ▲1,087 | ▲1,256 | ▲1,228 | ▲1,270 |
| Total | 193 | 1,995 | 1,634 | 88 | ▲17 |



Reality ^{beyond}
your **D**reams.

Annual Report 2007